

鎌ヶ谷市政策評価表

政策の名称	32都市活動を支える交通網整備を進めます		
基本目標	3「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	政策担当マネージャー	都市建設部長
重点政策該当有無		マネージャー氏名	宗川 洋一

I 改革・改善内容(=政策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き短期、中期、長期の事業計画を継続し、事業の効率化、重点化を図り市民のニーズに応じた、計画的で効率的な事業の推進を図ります。都市計画道路にあっては、同整備プログラムに基づき、3・4・10号、3・3・16号線を集中的に整備を進めます。	③改革・改善内容	事業の早期効果の発現に向けて、交付金などの活用による財源の確保や、計画的で効率的な用地取得の推進を図る必要があります。
②①に基づく取り組み結果	都市計画道路3・4・10号、3・3・16号の事業認可を取得、用地取得に向けた測量を開始しました。		

II 政策の目的・概要

①目的	対象	安全でゆとりのある道路ネットワークの形成。利便性の高い公共交通体系の充実。 幹線道路(都市計画道路、主要市道)生活道路(一般市道、私道)	意図(対象をどうするのか)	幹線道路のネットワーク形成、バリアフリー、交通安全で移動空間の安全の確保を進めます。生活道路の環境向上を図ります。 鉄道、バス、タクシー等の公共交通機関が連携し、誰もが利用しやすい交通体系の構築を図ります。
②政策の概要	良好な都市機能を確保するために、道路ネットワークの形成を図ります。このために、都市計画道路整備プログラムに基づき、効果的な幹線道路の整備を計画的に進めます。また、一般道路については、市民が安全で安心して利用できる道路の整備を図ります。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	交通渋滞による利便性の悪化や、安全に利用できる道路環境など、市民の道路に対する不満度は高い。具体的には、幹線道路、更には生活道路の整備に対する市民の要望は高まっています。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26～27年度の施策の成果	都市計画道路3・4・10号、3・3・16号の事業認可を取得し、事業に着手できました。また、主要市道などの整備も着実に進められています。								
②施策成果指標	指標名称			単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標値(27年度)	目標値(32年度)
	1	「道路の状況」不満足度(市民意識調査)		%	66.4	-	-	58	50.0
	2	都市計画道路整備率		%	33.0	33.0	33.0	38.0	43.0
	3	鉄道駅乗降客数(1日あたり)		人	190,010	191,600	調査中	192,000	200,000
	4	市内バス利用者数(1日あたり)		人	1,312	1,300	調査中	1,900	2,000
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
11									
③政策の事業費	平成26年度決算	平成27年度決算	市民一人あたり事業費(27年度決算)			平成28年度予算			
事業費(千円)	1,104,014	912,602	8			1,718,030			

IV 評価・検討

①課題	用地取得を伴う道路整備には多くの時間と費用がかかります。このため、事業効果の早期発現に向けた計画的な整備と、積極的に交付金を活用するなど、財源の確保が必要です。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	新規に事業に着手するなど、一定の成果はあったが、事業効果の発現には至っていないため。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑向上	②コストの方向性	↑増加
③特に重点化する施策	施策1 安全でゆとりのある道路の整備		
④上記方向性の説明	市民の道路に対する、不満足度の解消や、健全な都市活動を担う道路の整備は重要です。		